

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 アクティブライフ宇和

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 二宮 美菜子

評価完了日 平成 21 年 2 月 20 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			開設時にスタッフ全員でどうすればより良い生活が出来るかを話し合い作成した		理念に基づき利用者が地域にとけ込み生活出来るようにケアにあたっている
			(外部評価)		
			事業所の開設時、利用者個々の生活を支えていけるような理念が作られている。		さらに、「地域密着型サービス事業所」として、地域の中でどのようなことに取り組んでいくかということについて、この機会に話し合われてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			スタッフが常に目につく所に掲げてあり一人一人が意識できている		スタッフ全員が一日一回は確認し意識できる様にしたい
			(外部評価)		
			職員の採用時には、必ず事業所の理念を説明されている。又、介護計画作成時や自己評価に取り組む際には、理念に基づき振り返っておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			面会に来られる家族の方は、理念を目に通す機会があるが、地域にまでは浸透していない		理念の説明等を公報として、観てもらえる様な環境を作る

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		(自己評価) 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている 買い物や散歩時に、笑顔で気持ちの良い挨拶を心がけている			隣近所の人達との交流の場を作る
5	3	(自己評価) 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている (外部評価) 日々の散歩や買い物時、地域の方達と挨拶を交わされ、地区の盆踊りや商店街の夏祭りに出かけて交流されている。利用者とともに、ゴミ収集場所の掃除をされている。居室の窓から見えるご近所のお宅の方と手を振り合い、あいさつをされる利用者の方もいる。			地域が主催の行事にもっと多く参加したい 地域の方達は、事業所に関心を持ってもらえるとのことであり、今後は、事業所にも訪れてもらえるような機会を作っていきたいと考えておられる。職員は、地域の方に認知症のことや介護について、さらに知っていただきたいと思っておられ、介護教室を開催してはどうかと考えておられた。
6		(自己評価) 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる まだまだ、地域住民の状況を把握出来ていない			地域住民の事をまず把握し、話し合いを行う
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	(自己評価) 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる (外部評価) サービス評価のガイドブックや前回の自己評価を参考にしながら、職員個々で自己評価に取り組み、ユニットのリーダーがまとめられた。前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、介護計画の様式に、ご家族から意見や要望を記入してもらおう欄を設け、工夫された。	スタッフの入れ替わりがありまだ十分に理解出来ない		評価された内容を、スタッフ全員で話し合う機会を作る

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>定期的に運営推進会議を行い利用者の状況等を報告している</p>		<p>参加メンバーを多くしたり参加するスタッフを毎回変える</p>
			(外部評価)		
			<p>会議は、家族会時に合わせ開催されることもある。地域の方からは、「月行事への参加を回覧板で呼びかけてはどうか」と提案いただいた。</p>		<p>さらに、ご近所の方にも出席いただけるような働きかけや、いろいろな立場の方からの意見を引き出せるような会議のすすめ方等についても、工夫を重ねてほしい。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>民生委員、介護調査、介護相談員、消防署からは避難訓練に来て頂いている</p>		<p>スタッフも市主催の研修会に参加したりし交流出来る機会を増やす</p>
			(外部評価)		
			<p>市主催のグループホーム連絡会等に出席し、意見交換を行っておられる。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>学ぶ機会がなく支援できていない</p>		<p>学ぶ機会を作る（勉強会等）</p>
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>虐待の報告はなく、スタッフ全員で虐待の無い様に努めている</p>		<p>スタッフ会等で虐待について話し合う機会を作る</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 家族には管理者やユニットリーダーが説明している		他のスタッフも説明出来る様に勉強会の機会をつくる
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) スタッフ全員が、利用者の話しを聞き必要があればスタッフ会で話し合いをしている。又、介護相談員にも来て頂いている		100%運営に反映出来ていないので、スタッフ会等で話し合い100%運営に反映出来る様にする
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月利用者の様子を写真付の手紙を送ったり病院受診等必要ごとに電話で報告しているが、スタッフの異動は報告できていない (外部評価) ご家族からの電話の際には、職員はご自分の名前を名乗り、ご本人の様子を伝え、利用者とも直接お話できるように、つないでおられる。ご家族にも運営推進会議の内容を記した議事録を送付されている。		家族の不安をやわらげ、信頼関係を深めるために連絡、報告を行う。スタッフの異動も報告する ご家族の知りたい情報を、定期的に知ることができるような報告の工夫も期待される。たとえば、事業所のケアの取り組みや災害対策、職員の紹介等、又、事業所で特に力を入れていること等についても、ご家族に報告されてはどうだろうか。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置している。面会時にお話しをして苦情がでた場合スタッフ会で話し合いをしている (外部評価) ご家族には「何でも言ってくださいね」と気軽に意見を出してもらえよう、声かけされている。苦情等があった場合には、スタッフ会で話し合い、今後の対応についてご家族に報告されている。事業所主催の盆踊り際には、ご本人も浴衣やじんべを着て楽しめるよう、ご家族にも協力をいただいた。		面会時などに、本人の状態などを伝えスタッフに言いやすい環境をつくる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に1回スタッフ会を行い、意見や提案を言える機会がある		月に2回スタッフ会が出来るようにしたい。スタッフから出た意見や提案をリーダーが管理者に報告している
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 最低でも2人の勤務になっている。体調不良等に合わせ勤務調整している		体調不良の場合はスタッフ同士で勤務変更をし2人勤務が出来る様にしている
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動希望により希望を受け止めてもらっている。異動や、離職したスタッフがホームに顔を出している		ユニット間の異動があっても他ユニットに行った時に利用者とコミュニケーションをとっている。退職や異動された方など利用者の家族に来所された時に話をする
			(外部評価) 新人職員は、利用者個別の記録を見られたり、先輩職員から接し方についてアドバイスをもらいながら、利用者へ接しておられる。新人職員が利用者や業務に馴染んだ頃に、法人内で異動となることもあり、利用者やご家族に不安を感じさせることもあるようだ。		認知症の状態にある方が住まうグループホームは、馴染みの職員が利用者にかかわることが特徴でもある。この機会に、法人も含めて「職員の異動等による利用者、家族への影響への配慮」について、対策を検討してほしい。又、今後の取り組みについてご家族や運営推進会議時にも報告してほしい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内の研修会にスタッフが順番に参加している		スタッフ会で利用者の病気等勉強会を3ヶ月に1回している。研修内容を伝え合う機会をつくる
			(外部評価) 職員は、法人内の研修に参加している。職員会時に勉強会を行ったり、経験を重ねた職員が、職員個々にアドバイスをされている。		さらに、職員個々が外部研修についても受講できる機会を増やしていかれてはどうだろうか。貴事業所のさらなるケアサービスの質向上に向け、計画的に取り組んでいかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)			
			運営者がどのような働きかけをしているのかは不明。管理者は他事業者の運営推進会議に参加している			何人かのスタッフで他事業者に見学に行く等交流したい
			(外部評価)			
			管理者は、市内GH連絡会に参加されている。又、法人全体での研修会時には、法人内の事業所で意見交換をされている。		市の担当から運営推進会議時、同業者の方にも参加してもらってはどうかとアドバイスをいただいた。さらに、地域の他事業所との交流やネットワーク作り等、意見交換や、協力し合えるような交流を深めていかれてほしい。	
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)			
			忘年会などに予算を出してもらっている。		忘年会だけでなくホームでボーリング大会等を行いたい	
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)			
			パートから準社員、正社員への取り上げの規定が作られた。定年が65歳から68歳になった。できることの限界がありあまり取り組めていない		規程を全社員が解るようにしてほしい。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)			
			業務の間に耳を傾けている。本人が話したい時にはゆっくり話を聞くようにしている			業務より利用者が最優先である事を再認識しケアに取り組む

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 今までの家族の苦労や悩みを聞き不安を和らげていくよう努力している		面会や来所された家族に対して、今の状態等を話す時に、スタッフは笑顔で丁寧に対応するように努めている。又相談があった場合管理者に報告している。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談があったときに、本人や、家族の思い、たとえば病院受診なら、交通手段の提供や、スタッフが運転を行ったり、希望を叶えることができるように対応している。		二人勤務時でも1階と協力しながら対応ができています
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居前に見学ができ、利用者の不安のない様に、ホームの雰囲気を伝える事が出来る		家族やそれまで関わっていたかたにきて頂いたり安心感を持って頂ける様に努めている
			(外部評価) 利用者は、自宅から入居となる方が多く、入居前には、ご本人やご家族に事業所を見学していただき、雰囲気を味わってもらっている。		今後、利用者に関わる職員が、入居前に利用者ご本人宅を訪問することも検討されていた。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一人一人にあった楽しみ、生活を見つけ和やかに生活出来るようにつとめている。又利用者から学ぶ事が多く、お互いに支えあう関係が築けている。		常に人生の大先輩であるという事をスタッフ全員が意識し、これからも支えあう関係を築いていく
			(外部評価) 職員は、利用者に切干大根等の乾物作りや料理の味付けを教えていただいている。調査訪問時、利用者が落とされたタオルを他の利用者が拾ってあげるような助け合いの場面もうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の日々の状態を電話、手紙等で報告したり、面会時にはただ報告するのではなく本人と一緒に楽しく話せる環境を作れるよう努めている		家族会で交流できる機会はあるが、交流できる行事を増やしたい
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者の希望時に電話や、手紙を出したり、家族会を行っている		病院受診後は、家族に電話にて結果を報告している
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 特別な理由がなければ、地域のなじみの知人や、友人に自由に会いに来て頂いており、ゆっくりと話ができるようにお茶やお菓子を出してくつろげる雰囲気作りをしている		今以上に色々な方に来て頂けるように声をかけていく
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) コミュニケーションが取りづらい利用者でもスタッフが間に入りコミュニケーションをとり、特別な理由がない限り食事は全員一緒にとっている		利用者のなかで合わない方がいればさりげなくスタッフがはいり距離を空けている
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 必要に応じてケアの情報提供を行っている		他施設に移動になっても時々面会に行けるようにしたい

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 一人一人に担当がつき、自由に生活が出来る様に、スタッフ全員で話し合いケアプランを作成して介護を行い、日々のかかわりの中で、声かけをしたり把握に努めているしかし、ケアプランに十分反映できていない		アセスメントを作成する時は、必ずその人の立場になって考えるようにしている
			(外部評価) 事業所では、利用者の「その時、その瞬間」の気持ちを大切にされており、「お風呂に入りたい」という意欲や、ご本人のその時の希望に応じることができるよう努力されている。		今後も、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を探る努力を続けていかれてほしい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人との会話や家族の面会の時に情報を把握したり、少しずつでも、コミュニケーションが取れるように、努力している		知りえた情報は、スタッフ会で話し合いスタッフ全員で共用している。
			(外部評価) バイタル測定や食事量の変化等、状態観察を行い毎日申し送りをしている。又、個人記録などからスタッフ会で把握に努めている		日々のケアできずいた事はスタッフ会で相談する等し、スタッフ全員で把握するように努めている
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 本人との会話や家族の面会の時に情報を把握したり、少しずつでも、コミュニケーションが取れるように、努力している		知りえた情報は、スタッフ会で話し合いスタッフ全員で共用している。
			(外部評価) バイタル測定や食事量の変化等、状態観察を行い毎日申し送りをしている。又、個人記録などからスタッフ会で把握に努めている		日々のケアできずいた事はスタッフ会で相談する等し、スタッフ全員で把握するように努めている
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ケアプランの作成ごとに、スタッフ全員で話し合い、利用者が自分らしく暮らせるように考えているがご家族の意見の反映が不十分である。		面会に来られないご家族の意見を反映出来るようにするための環境が必要
			(外部評価) 介護計画は、利用者個々のアセスメントをもとに、担当職員が中心となって職員で話し合い、作成されている。介護計画には、ご家族の意見や要望を記入する欄を設け、よりご本人ご家族の思いを採り入れた計画の作成に努めておられる。		さらに、今後も、ご家族の希望や意見、アイデア等を引き出せるよう、働きかけの工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			基本的には3ヶ月に1回見直している。入居時には1ヶ月で見直しをしている。退院時や急変時にはその都度見直している		家族が意見を伝えやすくする機会作り。現在、面会時くらいしか意見を伝える機会がない
			(外部評価)		
			介護計画は、3ヶ月ごとの見直しと、入居時や退院時等、ご本人の状態に応じて随時見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個人記録に、日々の様子や、本人の話したこと、ケアを記録し、情報の共有をしている		日々の業務に追われケアの様子等、詳しくかけていない時がある
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			必要に応じて外部医療機関に受診などをグループホームの担当医、家族に相談、報告の上行っている。		運営者の考えがあるが、将来的にはショート利用も考えてもいいのではないかと
			(外部評価)		
			ご本人ご家族のご都合や状況に応じて、通院等、職員が同行されている。事業所では、利用者の方がご親族の結婚式に出席できるよう、ご家族とも相談しながら体調管理や精神面にも配慮して、計画的に支援された。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアや、消防訓練、保育所からの慰問、など来ていただいている		救急の講習会に参加したい。来ていただくだけでなくこちらから出向く事も必要
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在他サービスは利用していない		一度話し合いの機会を作る
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	協働していない		一度話し合いの機会を作る
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	グループホームの担当医と24時間の連絡体制をとり、往診にも来てもらっている。又希望される、病院に受診できるように支援している		どのスタッフが対応しても、ドクターに正確に情報を伝えられるように努めている
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	毎日のバイタルや状態を報告書といった形でグループホームの担当医にファックスしている又法人内の認知症専門のドクターに診てもらっている		入居前に法人内の認知症専門のドクターに診察が受けられるように支援している

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 月2回看護職員に来てもらい、相談、健康上端を見てもらっている。		月に3~4回きてもらいたい
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時、それまでの状態や、介護、援助方法などの情報提供をおこない、その後も家族と連絡を取ったり面会時に看護師と情報を交換したり退院に向けて備えている		面会に行ったスタッフは他のスタッフに申し送り情報を共有している
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族との早い段階での話し合いが不十分。また全員での方針が共有出来ていない		これから入居される方は、入居時に今入居されている方は、一度話し合いの機会を作り話し合いを行う
			(外部評価) 現在は、入院時等、利用者の状態変化時、ご家族と今後のことについて話し合っておられる。ご家族の中には、「最期まで事業所でお願いします」と言われる方もある。		利用者が重度化した場合や終末期の支援について、事業所の体制等について話し合ってみてほしい。又、ご本人ご家族の不安や心配ごとを踏まえて、早い段階から話し合いができるような取り組みも期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) かかりつけの医師と相談して、早めに準備をしているが、医療行為が必要になった場合ホームでは、出来ない事が多く一度検討する必要がある		今は、医療行為が必要になった場合法人内の病院にスムーズに入院が出来ている。しかし、法人外の病院にはスムーズに紹介できない事がある
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) これまでの状態や、行っていた援助についての情報提供を行い、住み替えによる混乱やダメージを防ぐようにしている。また新しい環境に慣れるまでに時間がかかる事を話している		慣れるまでスタッフが時間が許す限り関わりをもつ様にし本人が生活していた時間で生活が出来るように努める

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 居室に入る時には必ず声掛けを行い、居室に入る。又記録物にも注意している		個人情報の書いてある物は基本的にシュレッダーを使用し、裁断している。
			(外部評価) 調査訪問時、職員は、利用者に対して穏やかに声をかけておられる様子がうかがえた。		職員同士の業務の会話等のやりとりや、トイレの戸の開閉等、配慮が必要な場面も見受けられた。この機会に職員で点検し、話し合いをされてみてはどうか。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 一人一人に合わせて働きかけたり、利用者決定権があるような声掛けをしている。		利用者が本当にして欲しい事を引き出し、スタッフ間で共有し、チームケアに生かしている
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 基本的には利用者のペースに合わせた支援をしている。しかし、夜間入浴や、二人勤務の時等は、出来ない事もある		スタッフの補充をしてほしい。
			(外部評価) 毎日、新聞を読まれる方や昼食後ソファに座り、テレビを見ておられる方の様子がうかがえた。		現在、事業所では、さらに利用者の思いに沿ったケアを実践するために、職員の人員の補充を希望されており、法人から事業所の様子を見に来られる予定もある。さらなる貴事業所のケアサービスの質を高めるための話し合いを、法人も含めて重ねていかれることが期待される。又、今後の事業所の取り組みについて、運営推進会議やご家族にも報告するような機会を設けてはどうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理容、美容は本人の希望に合わせて近くの店を利用している。		本人の行きたい店があるのなら、そこに連れて行けるように支援する
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の時は、特別な事情がない限り全員一緒に食べる様になっている。 (外部評価) 食事は、ユニットごとに違うメニューとなっている。調査訪問時、利用者と一緒に食事の準備をされていた。誕生日には、ご本人のお好きな献立でお祝いをされている。ユニットのリーダーは、食事介助の必要な方の間に座り、ご自分も食事しながら、お二人に食事介助されていた。		利用者の体調を見ながら出来る利用者にはスタッフと一緒に食器洗い等をしてもらっている
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 担当医や家族に相談の上、健康に障らない程度に希望時に嗜好品を楽しんでもらっている		体調の変化を観察する。異常があれば、担当医に相談する
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の力や排泄パターンを把握しドクターやスタッフ間で連携して気持ちの良い排泄の支援に努めている		自力排泄の実践とオムツ使用を少しでも減らせる様にスタッフ間で排泄パターンを共有し連携して取り組む

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴の状況を見ながらスタッフが入浴の声かけをしている。夜間入浴は、出来ていない		夜間入浴が出来る様な環境作り
			(外部評価)		
			希望があれば、その都度入浴できるよう支援されている。入浴に気がすすまないような方にもタイミングを見ながら声をかけ、ご本人が「入りたい」と思う時に支援できるよう努力されている。		さらに、希望の入浴時間について、探っていきたいと考えておられ、現在は夜間入浴の希望はないが、希望があれば対応していきたいと考えておられた。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			個室やリビングでいつでも休めるように支援している。又それぞれに合わせた就床介助を行っている。		夜間不穏状態になった利用者の対応の徹底。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			一人一人できることを手伝ってもらっている。本や新聞などを読んで気晴らしになる人にはいろんな本をそろえたりしている		利用者の役割作りに取り組み、力を発揮出来るようにする
			(外部評価)		
			誕生日や、お正月等の特別な日には、お祝にお酒を少し飲まれる方もいる。食事の支度が日課となっている方もある。		今後、ご家族からの手紙へのお返事を出せるような取り組みも、すすめていきたいと考えておられた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			基本的には、スタッフが管理している。家族と相談し数千円を自分で持っている利用者もいる。又立替金として、希望時には使えるようにしている		使える機会を増やす。買い物と一緒にいく等する

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			毎日ではないがドライブ、買い物、散歩にスタッフと一緒に外出している。		毎日一人でも外出できる機会を増やす
			(外部評価)		
			日々、事業所の敷地内を散歩されたり、食材の買い物に出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			外出レクや社協の車椅子ごと乗れるバスを使ったイベントへの参加など、外出やイベント地に家族も参加できるように案内を出したりしている		人数を少なくして外出、出来る回数を多くする様な環境作り
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望時に電話できるようにしており、かけるときに支援をしている。手紙は、書ける利用者には書いてもらっている		家族や知人からも気軽の電話がかけられるような環境作り。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			来所時にも居心地良く過ごしていただけるようお茶などをお出ししている		家族だけでなく知人や友人も気軽に訪問できるような環境作り。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアに取り組んでおり、やむなく身体拘束を行う場合には記録、家族への連絡、同意、医者への報告を行うようになっている		身体拘束をしなければならないような状況になった際の利用者、家族の心のケアの対応も行うようにしたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 基本的には鍵はかけていないが、夜勤者が1人になる時間18時から朝8時30のみ出入りに鍵をかけている (外部評価) 玄関は鍵を掛けず、気ままに出かけられる方には職員がそっと見守り付き添っておられる。		不穏状態が強い場合のケアの徹底。帰りたと言われる入居者がいる場合はスタッフがついて外にでる
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 本人のプライバシーに配慮して部屋などを訪れる時には声かけ、ノックを行い、スタッフの1人は必ず全体が見渡せるホールで利用者の所在を把握している		時々一人で階段を下りる利用者がいるため、ドアのチャイムが鳴ると利用者の所在を確認する
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 本来据え付けであるベッドなども布団に変更をしたり、その人の状態や能力に応じて危険ではなくなるようにしている		夜間転倒予防で布団の横にカーペットを使用している
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) それぞれの状態に応じて、車イスや食事には、キザミ食にしたり、トロミをつけたりして危険を予防している。		消防署の救命救急にスタッフ全員が順番に参加したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 防火訓練、避難訓練を年に何回か実施し、地域の方にも総会で説明や協力いただけるよう呼びかけを行っている		くり返し訓練を実施し万が一に備えている
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練を定期的に行っている。 (外部評価) 夜間時の火災を想定して避難訓練を行っておられる。管理者は、地区の防災組織の研修会に参加し、地区の方達と防災について学ばれた。		地域の人々と連携がとれるような環境作り 今後さらに、地域との協体制作りをすすめ、いざという時に駆けつけてくれる協力者を増やしていかれてほしい。いろいろな場面を想定し、訓練を重ねていかれることが期待される。又、そのような事業所の取り組みをご家族にも報告されてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 日頃から生活状況を伝え、理解を得ながら不安な事は取り除けるように努めている。契約時にグループホームのリスクを伝えている。		考えられるリスクや情報を把握しておく。家族への説明の仕方をスタッフ間で統一出来るように話し合いをしておく
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝バイタルをチェックし、ドクターに報告しており、変化時も迅速に対応出来るようにしている。又、定期的にドクターの往診と、看護師の来訪があり、その情報を共有し、対応に結び付けている		変化時等、それぞれの家族の意向や対応、方法などを確認しておく。必要時には担当医に電話で相談している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬情報をファイルにまとめており、薬の変更時には、申し送り、日誌にて周知している。又、内服時にはスタッフが支援、確認を行っている。		薬情報のファイルを良く確認しスタッフ全員が利用者の使用している薬について把握する
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 毎日排便の有無をチェックし、一人一人に応じた内服や、牛乳や、ヨーグルトの摂取をさせていただいている		利用者の様子を観察し、ドクターと相談して1人1人に応じた薬を使用している
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後見守り、声かけ、介助など一人一人に応じた口腔ケアの支援を行っている。食後すぐにくつろぎたい利用者は声かけをしても拒否されることがある		ミキサー食の利用者も舌をガーゼにて清潔を保持している
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) バランスを考えた献立の作成から、食事量の確認、水分摂取量のチェックを行っている。又、キザミ食やトロミもその人の状態に合わせて使用している (外部評価) 担当職員が、1週間づつ献立を立てておられる。水分にとろみをつけている方もあった。		体重増加に気をつけ、低カロリーメニューにしたりおやつを抜いたりしている。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 手洗い、うがいの励行、訪問者にも協力をしてもらっている。ノロウイルスについては発症時のマニュアル化されている		疥癬、MRSAに対してまだ、経験のないスタッフが多いため勉強会の機会をもつ様にした

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材の賞味期限のチェック、まな板、布巾の毎日の消毒し衛生管理に努めている		水道水は直接飲まない様にし、一度沸かしてから使用している
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関先に鉢植えを置いている。夜間は玄関灯をつけている		季節ごとに小物や、装飾品を変えていつも楽しげで親しみやすい環境作りをしている
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) カーテン、照明器具での光量調整、季節に合わせた壁面の飾りや写真等で居心地良く過ごせるようにしている (外部評価) 共用空間には、利用者と共に新聞紙を利用して作った、梅の木とうぐいすが壁に飾られていた。廊下等にも椅子が配されていた。		各部屋の入りや廊下等に今以上装飾をする テレビの音や職員の会話等、利用者の居心地の良い環境作りという点から、この機会に事業所内の「音」について、職員で意見を出し合ってみてはどうか。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 個室で自由に過ごしたり、リビングのソファ、イス等それぞれが自由に過ごせるようになっている		利用者の思いや好みを考え、良い所にソファを移動して使用している

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居時に慣れた物を持って来て頂いている。居室内の清潔に勤めている		家族がこられたときの一緒にくつろげる空間づくりが必要。又家族の泊まりが出来る環境も同時に必要
			(外部評価)		
			居室で、ご家族に手紙を書いたり編み物をして過ごされる方もいる。鏡を見ながら化粧品でお肌のお手入れをされている方や、洗濯物を干しておられる方もある。誕生日に撮った写真が飾られていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			各部屋の換気扇の稼働、掃除を行い、エアコンを使用する時は、温度調節を心がけている。また24時間換気も使用している		利用者の状態に合わせた温度調節の徹底。加湿器の使用
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			バリアフリーで段差の少ない作りであり、手すりを持って歩けるようになっている。自立を妨げず、残存機能を活用できるよう援助している。		身体機能を活かした生活をしていただける様に援助する
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			出来ることをしてもらいながら出来ない事をフォローしている		時間がかかってもいいのでその人一人に合った援助をし残存能力の維持に努める
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			施設の広い敷地を、畑作りや、散歩などに利用している又1階2階合同でバーベキューをしたりしている		散歩の回数を増やしたり敷地を活かした行事を行う

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	毎日の会話の中で利用者の気持ちを聞いている
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ③ たまにある 4 ほとんどない	毎日の業務に追われ残りゆっくりした時間を持ってない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の都合になっている時がある
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	会話やこちらの働きかけで笑顔になれる
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ④ ほとんどいない 3 利用者の1/3くらいが 2 利用者の2/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が	外出の機会をあまり作れていない。スタッフと一緒に受診や買い物、散歩に行く事はある
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	グループホームの担当医や看護師の定期的の訪問。毎日のバイタルをドクターにファックスで報告している
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	スタッフ一人一人が状況に応じて支援している
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	毎月写真付のお知らせを送ったり、電話での連絡をしている。面会に来られる家族、電話をする家族には、信頼関係が出来ている
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族や知人には来ていただいている

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ②	地域の理容や美容を利用したり、保育所の子供たちに毎年慰問に来ていただいている
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ③ ③ ③ ③	スタッフの人数が少なく負担が大きい。お互い助け合いながら仕事はできている
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ③ ③ ③ ③	スタッフ側の都合に合わせた介助になってしまうことがある。帰宅願望に対してフォローができていない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ②	面会時での会話などでは概ね満足していただいているのではないかと

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

ミキサー食や、水分にトロミをつける状態になっても楽しく食事出来るように支援している